

# 大阪経済の情勢（平成 29 年 9 月指標を中心に）

## 「大阪経済は、緩やかに拡大しつつある」

**需要面**では、個人消費は、緩やかに増加している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額（近畿）、家電販売額（8月）、新車販売台数は増加。家計消費支出（近畿）は減少。投資は、持ち直しの動きに一服感がみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は減少。輸出は、緩やかに増加している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

**供給面**では、生産動向は、緩やかに増加しつつある。大阪府（8月）は、生産、出荷はともに低下。近畿の生産（8月）は上昇、全国の生産（9月）は低下。企業倒産では、件数は悪化、負債金額は改善。雇用は、着実に改善している。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は低下。所定外労働時間（8月）は横ばい。

先行きでは、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。

		需要							
	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (近畿)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関税外国人 旅客
9月	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑
8月	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑

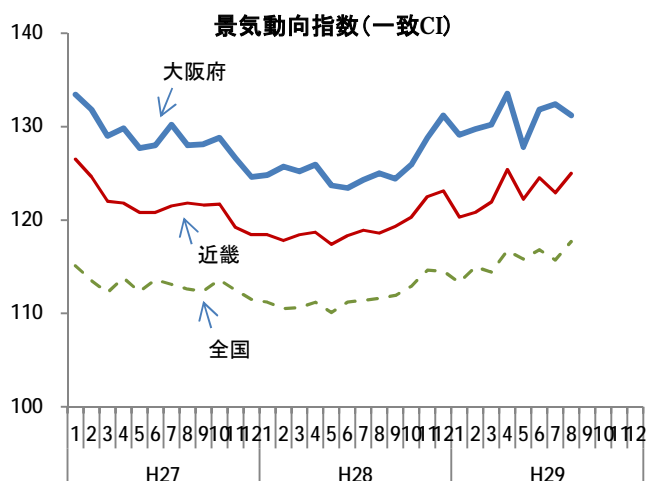
  

		供給				
	生産	倒産	雇用			
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
9月	↓	↓	↓	→	↑	
8月	↓	↑	↓	↓	↑	

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

### ●景気動向指数(CI)

大阪府(8月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。大阪府(一致CI)では、主に「人件費比率(製造業)」、「有効求人倍率」が低下に寄与。



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※H22=100

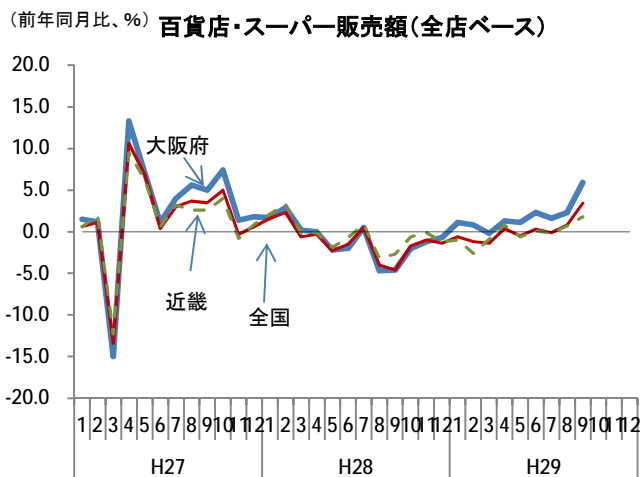
#### 一致CIの個別系列の寄与度※（大阪府、8月速報）

百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
0.49	0.18	▲0.49	▲0.53	▲0.67	▲0.65	0.50

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

### ●個人消費

個人消費は、緩やかに増加している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額（近畿）、家電販売額（8月）、新車販売台数は増加。



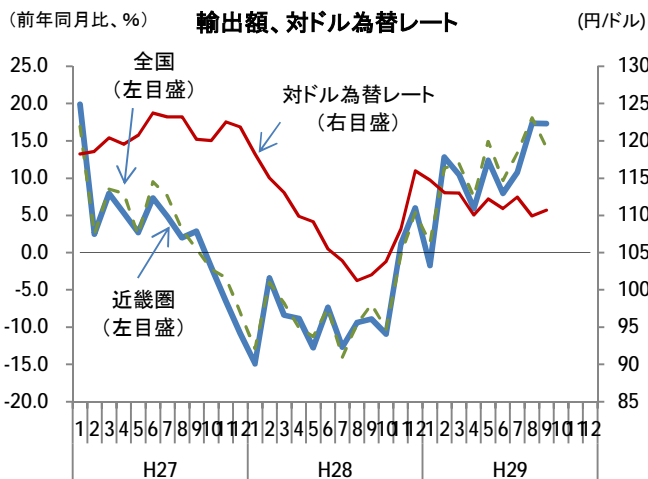
(資料) 近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

#### 業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比（%）、9月速報）

大型小売店 合計		5.9
うち	百貨店	10.0
	スーパー	2.0

## ●貿易

輸出は、緩やかに増加している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

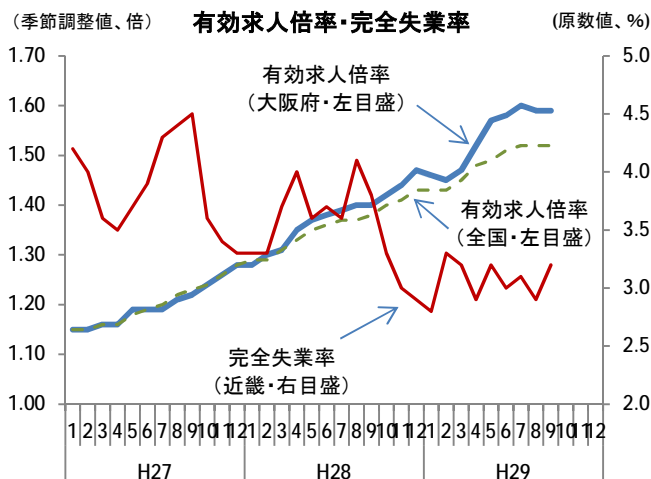
主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、9月速報)

アジア(含む中国)	17.3	8ヶ月連続の増加
中国	29.2	11ヶ月連続の増加
EU	24.9	5ヶ月連続の増加
アメリカ	16.8	5ヶ月連続の増加

(資料)大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

## ●雇用

雇用は、着実に改善している。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(8月)は上昇。



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

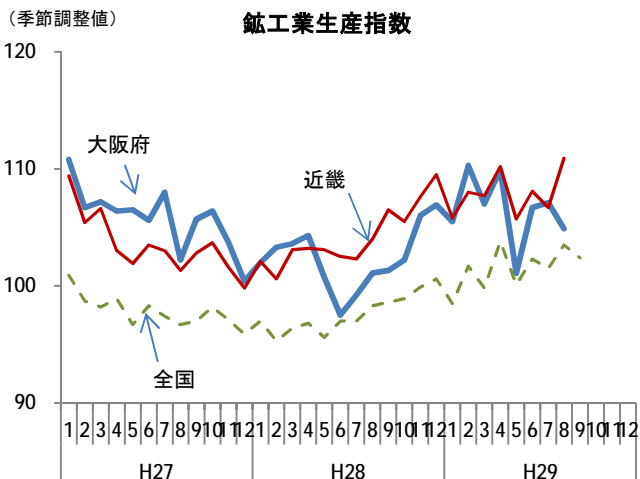
新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、9月)

産業計	8.7
建設業	5.0
製造業	7.1
卸売業、小売業	▲0.5
宿泊業、飲食サービス業	23.9
医療、福祉	11.4

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

## ●生産

生産動向は、緩やかに増加しつつある。大阪府(8月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(8月)は上昇、全国の生産(9月)は低下。



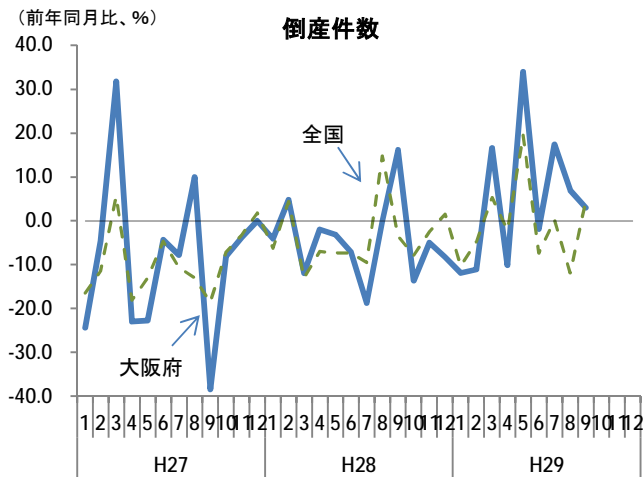
(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※大阪府は製造工業指数、H22=100

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、8月速報)

上 昇	<p>金属製品 (13.3) : 橋りょう、架線金物</p> <p>鉄鋼 (10.4) : H形鋼、亜鉛めっき鋼板</p> <p>輸送機械 (4.0) : シャシー・車体部品、自動車用駆動伝導・操縦装置部品</p>
低 下	<p>化学 (▲12.7) : 医薬品、分解ガソリン</p> <p>電子部品・デバイス (▲7.6) : 太陽電池セル</p> <p>プラスチック製品 (▲3.0) : プラスチック製パイプ、プラスチック製電気通信用部品</p>

## ●倒産

企業倒産では、件数は悪化、負債金額は改善。



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、9月)

業種	負債額(百万円)
婦人服企画卸	1,232
不動産売買・賃貸・建築工事	400
豆腐・油揚げ・ドーナツ製造販売	380